

難病の医療提供体制及び移行期医療支援体制の検討(案)

1 ワーキンググループの設置

難病の医療提供体制及び移行期医療支援体制の構築に向け、北海道難病対策協議会に検討を行うワーキンググループを設置する。

2 メンバー

(1)北海道難病対策協議会(医師)

三戸 和昭(北海道医師会 常任理事)

生駒 一憲(北海道大学大学院医学研究科リハビリテーション医学分野 教授)

菊地 誠志(北海道医療センター 院長)

有賀 正(北海道大学大学院医学研究科小児科学分野 特任教授)

藤原 秀俊(北海道社会福祉協議会(医療法人秀友会 理事長))

(2)厚生科学審議会疾病対策部会難病対策委員会

渥美 達也(北海道大学大学院医学研究科内科学講座免疫・代謝内科学分野 教授)

(3)北海道指定難病審査会

高橋 弘毅(札幌医科大学医学部呼吸器・アレルギー内科学講座 教授)

(4)その他

検討に必要な専門領域に対応する委員を追加予定

3 検討事項

(1)医療の現状(難病医療ネットワーク)

(2)現状の課題と目指すべき方向性

(3)必要な医療機能

(4)難病の医療提供体制及び移行期医療支援体制の構築

4 スケジュール(案)

・平成30年5月以降、ワーキングにて検討し、8月までに方向性を得る。

・検討内容については、北海道総合保健医療協議会地域保健専門委員会へ報告する。

H30.3月	H29年度第2回難病対策協議会	ワーキングの設置について説明
5月	第1回ワーキング	現状把握のため必要な情報の選定
7月	第2回ワーキング	現状の課題と目指すべき方向性
8月	第3回ワーキング	必要な医療機能
9月	難病対策協議会	検討内容の報告